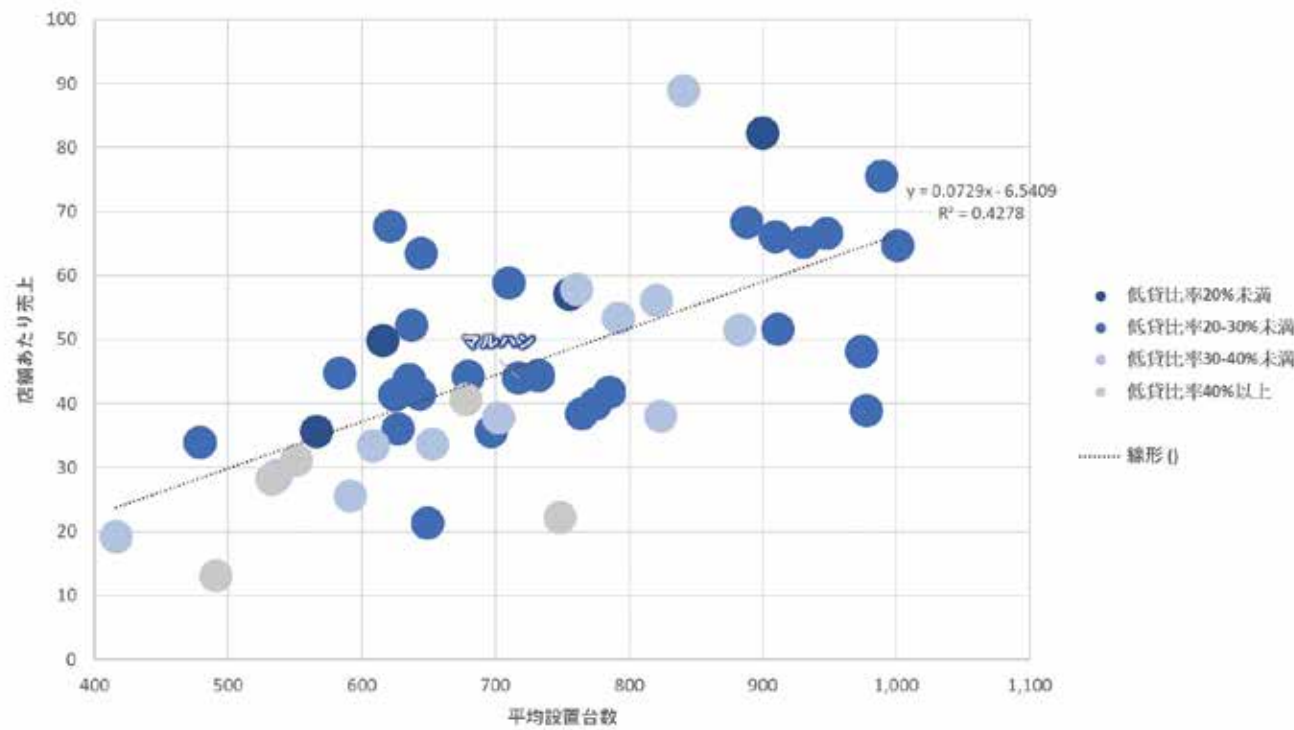


上位企業の平均売上高は前年比で増加

減少トレンドが続いてきたホールの「売上高」だが、今回掲載したデータでは、前年比で増加した企業が多くみられた。パチスロの回復や高単価機種が増えたことなども影響したと考えられる。ホール企業の売上高について分析してみた。文=小川竜司

店舗あたり売上高と平均設置台数の関係性(上位30社)



売上高上位は、マルハン・ダイナムの上位2企業に次いで、3位のNEXUS、4位のアンダーツリーグループ、5位の延田グループと上位5社は前年と変わらず。3位〜5位までの企業の売上高が前回に比べて差が開いた。

売上高上位30社(分社化されている同一グループは合算した)に絞り込んで、平均設置台数や設置一台あたりの売上高、店舗あたりの売上高などを調べてみた。上位30社の店舗あたり平均設置台数は765台。これは全国平均を大きく上回っており、上位企業は大型店を多数有していることが分かる。

平均設置台数が最も多いのは浜友A.L.。エリアで見ると、キング観光や善都、平成観光、セントラル(コンコルド)、真城グループといった愛知・岐阜をメインに出店する企業の平均設置台数が多いのが特徴だ。

売上高トップのマルハンは一軒あたりの設置台数が上位30社平均よりもやや少ない。マルハンの既存店には、480台、560台といった旧標準型の店舗も多く、これらがグループ全体の平均を押し下げている。店舗数として業界最多のダイナムグループは、上位30社の中で平均設置が最も少ない。

こうした、各企業の平均店舗サイズや設置台数の前年比増減と売上高関係性を分析した。売上高を店舗数で割った「一店舗あたりの売上高」は、当然大型店の増加で増加した。個別法人で見ると、設置台数が増えた企業(新店出店や既存店を増設した企業)はもちろんだが、設置台数の変化がほとんどなかった法人だけを抽出してみると、売上高は増加しており、1台あたりの売上高が確認できた。この期間比較の変化のなかで、売上高の増加につながったと考えられる要因のひとつが、「スマスロ」の設置・稼働シェアの増加だろう。コイン単価が高い機種が増えたことで台売りも増加。ただし、パチスロは競争が厳しく、粗利率を下げ、営業せざるを得ない状況でもあり、「売り上げ増」ほどに「売上総利益」や「営業利益」にはつながらなかった企業も多かったかもしれない。

業績を伸ばしたのは大規模店舗なのか?!

上位50社の総売上高と、「台当たり売上高前年比」「平均設置台数の前年比」と1台あたり売上高前年比」などを比較した。売り上げ高前年比と合計設置台数の前年比と正の相関はみられるもの、それほど強いものではなかった。

方が大きい、それ以外にも、「低貸し比率」(低いほど売上高が高い)、「稼働」(が高いほど売上高が高い)なども売上高に対する変数となっている。ちなみに店舗当たり売上高が最も高かったのは浜友A.L.グループだった。

一方で「台当たりの売上高(売上高を総設置台数で割った数値)」が高い企業を見てみると、「規模」との相関はそこまで高くない。つまり、台売りが高いことと規模が大きいことはそこまで関係ないということだ。

平均設置台数が少なく、一台当たり売上高が高い企業に共通しているのは、立地的に言えば「駅前店」を多く有している点だろうか。駅前店舗は比較的玉単価が高まりやすい、ということも影響しているのかもしれない。

久しぶりの「増収」に転じた要因はスマスロ?!

ホール企業の「売上高」は、「4号機時代」以降、基本的には減少傾向が続いてきた(コロナによって業績が大きく下がった年の翌期など例外はある)。企業ごとにも、新規出店がない企業はもちろん、新規出店して店舗数を増やした企業でさえも減少トレンドだった。

今回、その減少トレンドに変化がみられた。掲載した各企業の「売上高」の主な決算期は2024年3月期で、対象となる台あたり売上高が大幅に上昇した法人(20%増以上の法人)の特徴はなんだろうか。PS設置比率で見ると、パチスロ割合が上位50社平均よりも4ポイント高く、低貸し割合は4ポイント低い(A)。ただし、そのパチスロ割合や低貸し割合は前年比で大きく変化させたわけではない。また、売上高が大幅に上昇した企業の平均設置台数は上位50社平均程度であるため「大規模店ほど業績(売上高)を上げた」といった解釈は成り立たない。

台数増によって売上高増加につながったとみられる法人(台当たり売上はそれほど伸びていない法人)は、新店出店やリニューアルなどによってパチスロ割合や低貸し割合を「台当たり売上が大幅に上昇した法人」つまり(A)の形に近づけるような動きをしている店舗が多かった。

売上高を落とした法人は、状況がさまざまなかっただけで、平均にあまり意味を見出すことはできなかった。

なお、「売上高」は、不動産や飲食店、その他事業の売りの企業もある。つまり「パチスロ」の貸けではない。だが、パチスロ・パチスロでの「」を占める。

また、弊社で把握している「その他事業」の売上を超える企業に関しては、みるための集計から

続きはデジタルブックで
ご覧いただけます。

詳細はこちら